

# 教団新報

定価 1部140円(本体133円+共200円)  
予約購読料 1年分 干共 5,000円  
紙代のみ 3,500円  
振替 00140-9-145275  
本紙を購読ご希望の方は、前金を  
そえて、お近くのキリスト教書店  
へお申し込み下さい。  
教会の購読料は負担金に含みます。

発行所 日本基督教団  
169-0051 東京都新宿区西早稲田2-3-18  
日本キリスト教会館内 電話  
03(3202)0546  
FAX03(3207)3918  
発行人 内藤留幸  
編集主筆 竹澤知代志



シロアム教会 (東京教区、北支区、東京都新宿区)

## イースター メッセージ

### 使徒言行録2章22～32節

## わたしたちは皆、主の復活の証人



西原 明

今日、全世界の教会が「主はよみがえられた」と讃美の声をあげています。しかし、最初、主イエスの十字架の死に直面し、主から切り離された弟子たちは、主の復活を信じる事ができず、死の怖れに覆われて沈黙していたのです。だが、弟子たちそれぞれの状況に応じて現れてくださった復活の主こそ自身が、彼らの実存を根底から揺り動かし、新しい命へと再創造されたことは、その後の使徒たちの言行が証しています。聖霊降臨の日、使徒たちは「あなたが十字架上につけて殺したイエスを始めたのです。」と宣教し

造されたことは、その後の使徒たちの言行が証しています。聖霊降臨の日、使徒たちは「あなたが十字架上につけて殺したイエスを始めたのです。」と宣教し

### 主がともにおられる

ユダの後継者を選出する時、ペトロは「主イエスがわたしたちと共に生活さす(使徒1・21～22)」と宣いました。宣教活動の困難に直面す

るパウロは「恐れるな。語り続けよ。黙っているな。わたしがあなたと共にいる(使徒18・9～10a)」と、復活の主が現れ語られたと言います。そして、マタイによる福音書は、キリストのご生涯とお働きを「主がわたしたちと共におられる」という重要な証言で括っています。

「見よ、おとめが身こもって男の子を産む。その名はインマヌエルと呼ばれる」この名は、『神は我々と共におられる』という意味である(マタイ1・23)。「あなたがたに命じておいたことをすべて守るよう(創世記28・15～16)」。

「見捨てない。ヤコブは眠りから覚めて言った。『まことに主がこの場所におられるの』に、わたしは知らなかった(創世記28・15～16)」。

### 死の淵の底で

わたしの住まいに「われらは皆、主の復活の証人」という書が架けられています。わたしが神学校を卒業し最初に遭わされた兵庫県の高砂教会で、八年間の求道を経て受洗されたAさんが、受洗四〇年を感謝して書いたものです。

若い母親だった彼女の求道生活は、文字通り死の淵の底からの叫び求めでした。しかし大切な「主イエスの復活」がなかなか分らない。Aさんが、日本脳炎で生死の境に陥った中学生の息子の片手を握りしめて祈ったのです。

### 主の平安に包まれて

隠退後の脳梗塞入院も、その後、二度の大腸がん手術で、脳梗塞罹病者の故に全身麻酔から覚めない危険があると告げられた時も、更に再度の転移を高齢だった。主の祈りを祈ったあと

「キリストがわたしと共にいてくださいますように。わたしの内に、わたしの後ろに、前に、右に、左に、わたしの下に、上に、いてください。わたしが寝るときも起きるときも、そしてわたしが地上から旅立つときも、キリストがわたしと共にいて下さいますように(アイルランド開拓伝道者バトリックの祈り)」と祈ります。

## 荒野の

▼説教テープを再生したら、前後の讃美歌も入っていた。久しぶり自分の讃美歌を聞き、滅入ってしまった。昔に比べて大分上達したと自惚れていたが、思い込みだったらしい。▼「君の歌は犬吠埼のネギだ」と揶揄されたことがある。その意味は、「鈍子(調子)の外れ、(ネギには)ふしがない」。「礼拝のテープが楽しみです」と言ってくれる会員もあるが、もしかして、下手な漫才よりも笑えるという意味かも。▼次の週、しかし、歌われないわけにはいかなかった。一歩下がり小さい声で歌った。余計に歌えない。下手だからこそ、ちょっとしたでもやり方を覚えると具合が悪い。開き直って、普段通り大声で、鈍子の外れで、何とも。▼「信仰なくして信仰を学ぶことうなものだ。『言の葉の木』、ル・グウィン」。讃美歌は勘弁して貰うしかないとして、信仰なくして福音を語っても、伝道は出来ない。教団の伝道が奮わないについては、教団が、教師が信仰(告白)に生きていないかどうかが問われる。

物も、わたしたちの主キリスト・イエスによって示された神の愛から、わたしたちを引き離すことはできないのです。(隠退教師、シロアム教会協力牧師)



# 07年度第2次補正予算なる 「教団 50 年データ」発表

予算決算委員会

第35総会期第四回予算決算委員会は二月七日～八日開かれ、二〇〇七年度第二次補正予算、負担金算定等について審議された。

二〇〇七年度第二次補正予算の骨子は、予備費三一九〇万円の処理を、経常・収益事業両会計で行ったこと、新に設置された伝道一五〇年委員会に予算五〇万円など、教団の動きに対応する補正を決め、常議員会に提出する点とした。

また、社会委員会が、これまで管理してきた「保育園貸出金」及び「同貸出資金」会計の債権及び資金を、元来帰属していた日本キリスト教保育所同盟に、同団体

が自主活動団体に承認されたことに伴い移管したとの報告を受け、内容及び財務諸表中の異同を確認した。

二〇〇六年度法人税、消費税配賦額等に関し、柳澤享公認会計士から各センタ一の計算概要・配賦計算過程等について説明を受けた。これにより、各センターの課題も明らかとなった。

負担金算定方式について、二〇〇九年度は現行通りとする点を決めた。

その一方で、公平性を中心として、会員数、財政規模、地域格差に配慮しつつ、より分かりやすいものとする方向で審議を継続することとした。



「C表記入要領」を分かりやすさ主眼に改定



各神学校の問安報告、神学教育の現状把握、問題点整理



岡本式文改定小委員長(左から二人目)の報告を聞く

第35総会期第四回信仰職制委員会が二月十四日に教団会議室で行われた。式文改訂小委員会に対して当委員会からの問「新しい式文作成に当たっては、

礼拝指針の作成を要請したはずだが、『試用版』では十分ではないか」に対する岡本知之式文改訂小委員長

よりの報告を聞いた。同小委員会は一九九八年の設置以来、式文の作成と共に、その詳しい解説を作成する方向で作業してきた。十全

な意味での「礼拝指針」の作成はむしろ信仰職制委員会の課題であると理解している。既に出版された式文は「試用版」であるから、これに対する諸意見を受けて、解説の部分も含めて今後検討し、教団の教会性が表される式文を作成していきたい、と表明された。

前回、総幹事より「信じる気持ち」はじめてのキリスト教」についての検討を要請する諮問があった。これは教団内任意団体からの要請を総幹事が受けとめて

二月十二日～十三日に教団会議室において、第35総会期第四回教師委員会が開かれた。

委員長・事務局報告では、教師委員会が神学校との教団の窓口であることから、教師検定委員会とAコース受験資格を持つ各神学校との話し合いの労をとったことが報告された。

神学校がおこなっている教師のセミナーへの参加費を補助する「教師継続教育研修費援助」については、開催されるセミナーがおもに教師を対象としたものであること、そして教区を通して申し込まれるものであることを確認した。

また、研修費援助金が底をついたため、教師継続教育基金より百万円を繰り入れることを決めた。

「年度報告」の「C表記入要領」について検討の結果、分かりやすさを主眼とした改訂を行い、三月配布の報告書から使用することを決めた。

「教団50年データ」が発表された。教団財政の展望は予算決算委員会の課題であるが、その一環として作成されたもの。終戦直後から現在・未来に至るまで数値で捕らえ、教団財政の方向を検討しようとするものであるが、結果的には、お金の問題ではなく、人の問題であることが明るみに来た。

つまり、伝道力の停滞により、受洗が召天に追いつかない。一般の高齢化とは

## 書籍出版意志決定の曖昧さ指摘

### 出版局の在り方巡る協議を深める

信 仰 職 制 委 員 会

り下げるとの申し出があった。諮問の取り下げは受け入れることとしたが、前回からの継続で出版局のあり方をめぐる協議を深めた。

教規五十条③には総幹事が出版局を「その所轄のものに置く」とある一方で、出版局規定第三条①では総

幹事は出版局の一理事となると定めるなど、総幹事の位置付けが不明瞭であり、その結果、出版局の書籍出版における意思決定の仕方が曖昧となっている点が指摘された。

前回の委員会では、教団の「教会暦」制定は「式文」に関する諸規則の見直し

が、今後この時期でよいのかということについても意見が交換された。新任者としても少し経験を経る秋頃に開催したらどうかという意見も出されたが、様々な角度から総合的に判断すると、結局この時期でよいのではないかとこの

に落ち着いた。

プログラムでは、「分団」の持ち方についても議論がなされたが、各分団を特定の神学校出身者に偏らないで、相互に広く知り合える場とすることで一致した。

隠退教師をめぐる問題については、雲然俊美委員が発題をした。その中で、隠

## 「新任教師オリエンテーション」協議

### 隠退教師を巡る問題で発題

師 会 員 会 教 委

昨年十月と十一月におこなった各神学校の問安報告では、問安を振り返りつつ

神学教育の現状を把握し、問題点を整理した。

今年六月三日～五日に伊豆の天城山荘で開かれる「新任教師オリエンテーション」について各プログラムの担当者等を協議した。今年はずでに例年通りの開催日に決まっている

が、今後この時期でよいのかということについても意見が交換された。新任者としても少し経験を経る秋頃に開催したらどうかという意見も出されたが、

様々な角度から総合的に判断すると、結局この時期でよいのではないかとこの

に落ち着いた。

プログラムでは、「分団」の持ち方についても議論がなされたが、各分団を特定の神学校出身者に偏らないで、相互に広く知り合える場とすることで一致した。

隠退教師をめぐる問題については、雲然俊美委員が発題をした。その中で、隠

を、次回常議員会に提出される「機構検討委員会」の答申を見た上で、教規の検討点」として当委員会の課題とすることが判断することとした。

次回委員会は七月二日～四日の予定である。

(大村栄報)

退教師の定義について、教団には二つの矛盾する規定が混在していること、また隠退教師の動向を把握し切れていないこと、引退後の礼拝出席のこと、生活のことなどをめぐる問題点が指摘された。同時に、特に地方の小規模教会では、隠退教師の奉仕が用いられている現状も紹介された。

女性教職をめぐる問題については、次回に発題を受けることとなった。

その他、教師養成という課題の大きさを思いつつ、主の助けと導きを祈って終了した。

(小宮山剛報)

## 教師検定試験公告

二〇〇八年秋季教師検定試験を左記の要領で行います。

- 一、受験要綱と受験願書の提出期限  
受験要綱と教団指定の願書用紙は一六〇円切手を同封し、正教師受験志願者が補教師(A、B、Cコースの別も)受験志願者かを明記した上、封書でお申し込みください。願書と必要書類を整えて、受験料とともに所属教区に提出してください。
- ①教区締切 二〇〇八年六月六日(金) 教区により締切が異なりますので、教区事務所に確認してください。
- ②教団締切 二〇〇八年七月三日(木) 各教区から教師検定委員会に提出する際の締切です。

- ＊受験料は正教師一万三千円、補教師一万円。
- 二、正教師「説教」「釈義」の課題テキスト  
①旧約 ヨブ記 十九章二十三節～二十七節  
②新約 ヘブライ人への手紙 十二章一節～三節  
三、正教師の「神学論文」の課題  
「今日における宣教の課題」特に「をめぐって」という副題をつけ、自分の伝道・牧会をふまえて神学的に論述してください。
- 四、正教師の「組織神学」の課題  
『教会の標識(説教・聖礼典)』について、宗教改革期の議論をふまえ、教会形成を視野に入れて、組織神学的に論述してください。
- 五、補教師「説教」「釈義」の課題テキスト  
①旧約 サムエル記上 十六章一節～十三節  
②新約 ガラテヤの信徒への手紙 三章一節～六節  
＊コースによって「説教」「釈義」の提出内容が異なりますので、必ず受験要綱で確認ください。
- 六、補教師(Cコース)の牧会学の課題  
『牧会とは何か』について神学的に論述してください。
- 七、提出物締切について  
当委員会への提出締切日は、「説教」「釈義」「神学論文」「組織神学」「牧会学」全て二〇〇八年七月四日(金) 必着です。
- 八、学科試験・面接について  
学科試験は九月十六日(火)、面接は九月十七日(水)、十八日(木)に「大阪クリスチャンセンター」を会場にして実施します。詳細は受験志願者に通知いたします。

不明な点は直接、当委員会へお問い合わせください。

二〇〇八年四月一日

日本基督教団教師検定委員会

〒一六九〇〇五一  
東京都新宿区西早稲田二一三十八三十一  
電話 (〇三)三三二二〇五四六



# 再建はじまる 募金の推進を

## 第4回「能登半島地震」被災 教会会堂等再建支援委員会

第四回「能登半島地震」被災教会会堂等再建支援委員会(以下、委員会という)が、二月六日に、教団会議室で開催された。

委員会は、前回(第三回)委員会記録を確認後、陪席した高橋潤中部教区議長及能登半島地震の余震と

び小宮山剛中部教区能登半島地震被災教会再建委員長より、前回の委員会以降の中部教区を取り組みの経過及び現況についての報告を受けた。その中で、一月二六日、奥能登を震源とする



募金、再建計画等について協議

れる震度5弱の地震が輪島市で発生した。関係者への大きな被害の報告はされていなが輪島教会の礼拝堂のひびが大きくなったとの報告があった。

一方、教会会堂等の再建については、七尾教会の牧師館改築、七尾幼稚園の園舎改修、魚津教会の会堂改修が完了したこと及び二〇〇八年度の再建計画についての報告がなされた。

次に教団事務局より二月五日現在の再建支援募金の募金状況についての報告・説明、及びクリスマスにむけて募金協力呼びかけのポスターを全国の教会・伝道所に発送したとの報告を受けた。

以後、協議に入り前回に引き続き募金、再建計画等今後の運営について協議を

## 「全国交流会」開催に向け募金 第3回障害者差別問題小委員会

二月十九、二〇日、教団会議室に於いて第三回障害者差別問題小委員会が開催された。

主な議事の第一は、ホームページの内容充実に関する件である。これは、すでに昨年十月に開催された委員会を受け、開設した当委員会のホームページに関する件である。

このホームページ(<http://sky.geocities.jp/ucjshogan>)を通して、障がいを持つ方々や諸教会の対応に役立つ情報発信ができるように願っている。

このため、さらなる内容の充実、特に心の病に関する情報と聴覚障がいに関する情報の内容を協議した。

第二は、「第1回障がい」を考える全国交流会」開催に関する件についてである。これは、すでに各教区

へ案内・申込書が送付されたが、戸山サンライズ(東京)を会場にして二〇〇八年六月十七、十八日に開催する予定である。この交流会は次の二つの目的を持つて開催する予定である。

①障がいの苦しみの根底にある心、魂への配慮を豊かにするために

②教会に於ける取り組みのわかちあいのために

内容は、分団を主として五つのグループに分けている。

①心の病を考える

②視覚の障がいを考える

③聴覚の障がいを考える

④身体障がいを考える

⑤介護・介助を考える

なお、各教区から事前にアンケートを通して障がいに関する取り組みについて回答をいただいた。これをもとに分団、全体会に生か



ホームページの内容充実を協議

## 北支区 みんなちがって、 みんないい

東京教区に於いて信仰理解、教会の姿勢、宣教のあり方が激しく対立した70年代以降、北支区は一貫して、「伝道を教会形成と結びつけると同時に、教会の社会に対する預言者の責任を視野に入れた」宣教活動を重視しています。

支区内にはこの姿勢に対する異論もありです。これからも宣教理解について開かれたかたちで議論を重ねていきます。その際、従前の通り、常に自らを相対化しようとする。

## 教区 コラム

努力、「キリストにならない、違いをよるこび、受け入れ合」っ(讃美歌21・416⑤)で、お互いに育てられていくことを大切にしていきたいと願っています。

合同教会である日本キリスト教団にはいろんな理解や考え方が流れ込んでいます。さらに、教会が置かれている地域の課題や住民のニーズに隣りのいくつかの教会が共同しながら取り組んでいく、新しい宣教のあり方「の必要性・可能性についても模索していきたいと思っています。(東京教区北支区長)

## 「三週間協議会」開催準備

### スイス協約・韓国協約合同委員会

第35総会期第三回スイス協約委員会が、二〇〇八年二月七日、教団会議室で開催された。後半は再び韓国協約委員会との合同委員会となり、日本で開催予定の次回「スイス・韓国・日本三週間協議会」を中心に話し合いがなされた。

そのさいスイス側の記録が次回協議会を「第三回」と表記していることが分かり、今後は本委員会もそれに合わせることにした。

韓国協約委員会には、およそ以下のような経緯と展

望を説明して、次回協議会の共催を再びお願いした。スイス協約委員会が一九八八年に設置された背景には、京都にスイス・プロテスタント教会関係の施設が二つあって教区と関係が深いこと、また一九八〇年代、スイス東亜伝道会の紹介で、教団から日本人牧師が協力牧師として当地で働いたことなどがある。

協約関係の実質化として開催された第二回協議会(一九九七年、チューリッ)にはスイス在住の韓国人牧

## 消息

岡山好江氏(隠退教師)



域ごとの視点から報告および意見交換を行うことは、自らの立ち位置を複眼的に把握する上で貴重な機会となっている。

教団や各教会にとっても、グローバルな視野の中でローカルな宣教課題を見定めるべき時代が来ている。今後も教会が社会に貢献し、またそれを担う若い信徒が育つためにも、協議会はいらねるべきであろう。

以上のような経緯と今後の展望が確認された。その上で韓国協約委員会において検討し、再度両委員会の合同の協議を持つこととした。

(廣石望報)

## 事務局報

正教師登録  
秋山 泉 菊地恵美香、平田 吉 星野江理香(二〇〇八・二三受按)教師異動  
城之橋 辞(代)中島信義  
就(主)奥村真敏  
近江兄弟中学校  
就(教)大門耕平  
医療法人聖愛会松山ホテル病院 辞(教)義平雅夫  
退任より教師復帰  
堀川賢二

◆公 募◆  
EMS(南西ドイツ宣教会青年ボランティアプログラム)  
◎期間/2008年9月より約5ヶ月間  
◎内容/ドイツの保育所や教会青年部でのボランティア活動  
◎財政条件/ドイツ側が健康保険、食事・宿泊・小遣いを提供  
参加者本人が飛行機チケット代りば取得費用を負担  
◎条件/18歳以上30歳以下、英語でのコミュニケーション力、牧師の推薦状  
◎参加国/日本、ナイジエリア、ガーナ、南アフリカ(何れもEMSパートナー教会)  
◎募集人数/1名  
(日本基督教団より)  
◎問合せ/国際関係委員会(tel.03-1320210544)  
◎応募締切/6月30日、書類と後日の面接により選考



# 牧師のパートナー

私達は六〇歳まで社会の中でく普通の生活をしておりました。夫は高校の教師でした。三〇代の頃「聖歳月」というイエス様の伝記小説を書き、自費出版してあります。それを書くため聖書をくり返し熟読し、当時の最新の情報を勉強して執筆に熱中し、私達の会話に聖書の話題がよく出ていたのを思い出します、今は聖書の研究もさらに進んで、当時わからなかった多くの新しい事実が発見されているとの事、二千年も研究され続けているのに今でもまだ新発見が…と驚きます。

夫は定年を迎え、突然神学校へ行って学び、牧師になりたいと言いました。私はいたってのん気です。あなた達の人生だ。好きにしたらいい」と私自身と関わりがあることに思い至らず送り出し、夫のいない四年間を楽しんだのでした。後に近隣の教会の牧師夫人が、夫不在の四年間をさぞ辛かったでしょうと同情された時「とても良い時間でした」と言っぴつくりされました。若い牧師夫人に

## 神様は面白い方

加藤 敦子  
(保原教会員)

話のような現実味の無い感覚です。そして一九九九年四月、福島県の小さい教会に来ました。

教会はかつて牧師との間でトラブルがあり、一応決着していましたが、会堂は無く民家を借りていました。無牧の時、教会員はここで牧師が与えられるよう熱心に祈りを捧げてきたそうです。その一年後、農村部に移って新会堂が建ちました。

牧師夫人とはどんな



加藤久孝牧師と

は分らない心境です。共働きの忙しい毎日、家事の重荷、ストレスで参っしまいそうな時、愛はひととき引込んで夫婦間はギクシヤクシヤします。そして別居、距離を置いて相手を想い、その気持ちや互いの日常を週に一回は手紙で伝えあう時が私には必要でした。牧師夫人になって初めて夫婦がこんなに支えあっている関係なのかと判った次第です。

最終学年になってやっと私は一年後には牧師夫人になるのかと思いはじめ、最初に想ったのが昔愛読した「赤毛のアン」の中の牧師夫人の姿だったので、からおとぎ

ものか、教区の牧師夫人の会にさつそく出席し、婦人会連合の牧師夫人研究会の大会にも興味津々、出席です。

この地に来てすぐ教区婦人委員会の県委員の順番が地区へ廻って来ましたが諸事情で誰も受けられず、教会婦人会の経験もない私がやることになりました。四年間皆さまに助けていただき、失敗も幾つもしましたが、楽しく満たされた時であったと心に残っています。

以上、九年間の牧師のパートナーとしての年月です。劇的なことは何もない、これという働きもない。毎日、神さまに教会員、その御家族、求道者の方々をお守り下さっていることへの感謝の祈り、これだけでしょうか。

私自身は沢山のことを学びました。教会生活を通して、頂く、パンフレットや様々な分野の本を通して、地域のサークル活動や講演会を通して、神さまは意外と面白いお方のように、思いがけない経験をさせて下さったり、助けて下さったり、試練を用意して下さいました。そのどれもが、私に受け取る準備ができた時を見計らって与えられています。どんな場合も、良い方へ導いて下さることを確信して今を生きています。

## デモクラシー成熟の課題

東京信徒会



二月二日(土) 富士見町教会を会場に東京信徒会が開かれ、聖学院大学学長阿久戸光晴氏が「デモクラシー成熟の課題」と題して講演した。参加者五四名。

この信徒会は教会を超えた信徒の自由な交わりと勉強を中心にした会で、今年、五年目を迎える。

阿久戸氏は、現代の課題は、人々が高い見識と静かな勇気をもって、気骨ある人生を営んでいくことが一番の解決であると語った。

物語「星の王子さま」は「大切なものは目に見えない」が主題である。見えな

いものを見る目、そこに隠されている真実を見る目は聖書によって養われる。併せて、宇宙万物・文化・精神あらゆるものに見えざる中心があると指摘した。

現代の問題は中心の喪失であると提起したハンス・ゼーデルマイヤーを紹介しながら分析を展開する。

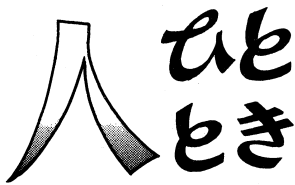
近代デモクラシー体制は、父権的国王を廃し、構成員の周縁部分を含め全体の活性化を図る体制であるが、現代日本社会において「中心の喪失」への恐れが

深刻な問題である。つまり、父権的国王でない新しい中心とは何か、良い意味でも悪い意味でも失っている。アメリカ・ビュリタンは見える国王を置かず、見えざる神を中心にして社会と国家を築くために「中心の拡散」を図った。真の中心を求心力とするために、擬似中心を廃棄した。この信念が根本規範理念として一般化されデモクラシーが形成されて行った。これこそが、近現代社会の中心を担い得るものである。

何時のことが分らないが、世界共同体は、教会共同体を仰ぎ、血縁共同体から約束共同体へ、神という唯一の縦関係の中において、横が出来ていくという関係が築かれていくであろう。そこにイエス・キリストが足を洗うサバント・リーダーシップがある。

イエス・キリストの贖罪信仰、復活信仰に希望と愛の心を共有することこそが、闇に輝く灯台の姿、世の希望となる教会共同体である。その中に私達はいるのであると力強く結んだ。

(鈴木功男報)



松本美知代さん

## Good News の嬉しいキャスター



1948 年生まれ。藤沢北教会員、英検試験官

「福音は本音」 Good News だと思います。News は伝えたいとダメ。News は流し続けることが大切です」と言い切る。

洗礼を受けたのは、五年前のクリスマス。「こちら側では何の準備もないまま」導かれるままに受洗準備会。「準備会の途中で、ダメだと思ったからそこでやめればよいと、気軽に臨んだ。やがて諮問会。「ダメだったら諮問会でダメと言われるだけ」と、やはり気軽に臨む。

洗礼を受けて間もなく、勉強にもなるからと勧められて教会学校教師に。説教をしなくてはならないが、教師になってから半年間の猶予がある、と気軽に取り組む。

「気軽に」とは言っても、あなたまかせの無責任の姿勢とは全く違う。福音に与らせ、伝えさせ、用いてくださる主の備えと導きを信じて委ねる、喜ばしい態度だと思っている。

キリストの愛に駆り立てられているから、「伝道は待っていてはダメ。Good News をこちらから投げるのです。まず投げ、そして投げ続ける」のだという。まさに、Good News のキャスター(投げる人)だ。

かつて英語の教師。今も、英検の面接官をする。好きな英語、賜物の英語が用いられて、「Bible class GRACE」を牧師と共に指導することになった。

昨年夏前に、約五千万人分の年金記録が、失われたり、不備であることが次第に分かり、日本中に不安が広がった。

あるフランス人ジャーナリストが、「日本人は何て大人しい民族か。これがわが国で起きたなら、国中で暴動が起る」と言った。

外国人の反応はともかく、誰もが自分の分は大丈夫なのか、一度は考えたのではないか。

先日のこと。社保庁から「年金記録確認」の書類が届いたが、開けてびっくり。何と、私が神学校を卒業してからの一〇余年分の納

## 将来の確保

入額がゼロ。幸い、その間の領収書を保管していたので一安心。私たちは、与えられた信仰を守り育てつつ地上の生活を歩んでいる。信仰生活の具体的な内容として、日本人は何て大人しい民族か。これがわが国で起きたなら、国中で暴動が起る」と言った。

外国人の反応はともかく、誰もが自分の分は大丈夫なのか、一度は考えたのではないか。

先日のこと。社保庁から「年金記録確認」の書類が届いたが、開けてびっくり。何と、私が神学校を卒業してからの一〇余年分の納

では、礼拝を守り、様々な奉仕・賜物・時・財ほかを捧げる…に励み、この生活こそ、天の命に直結していると信じており、ある程度、その準備ができていたという自負があるかもしれない。

イエスターおめでとう。

(教団総会副議長 小林 眞)

「せっかく恵みの中に生かされているのだから、感謝して生きることが幸せなのです」との確信を伝える。「み言葉に触れ、キリストと出会う、強さも与えられるのも幸いです。主にCS 生徒の母親たちが参加し、礼拝にも参加するようになった。

「これから「伝道」と意識してはいないが、「福音を伝えるために」についての面倒なことも提案する。」「いつかは聖霊の導き」。不思議なタイミングと備えがあつて子供向けの「GRACE」が牧師夫人らの指導で始まり、多くの親子が礼拝にもつながりはじめている。伝道は「本